



CLUB BULLETIN

R. I. 第 2530 地区

いわき勿来ロータリー・クラブ

会長 赤津 善宣
幹事 山下 喜一
SAA 富岡 幸広
会報小委員長 鈴木 正人

○例会日 毎週水曜日(12:30～13:30) ○事務所 いわき市植田町中央一丁目6番地の9
○例会場 ホテルミドリ 〒974-8261 ホテルミドリ内
TEL0246-62-3737

こころの中を見つめよう
博愛を広げるために

第 2423 回 例会 平成 23 年 9 月 7 日(水・晴)

2011～2012 年国際ロータリーのテーマ

ゲスト

米山記念奨学生 ジュ ミ ソン 朱 美 善さん

会員卓話

渡辺 勉 会員

君が代

ロータリーの綱領

赤津 善宣 会長

—今月は新世代のための月間です—

◎会長報告—赤津善宣会長

皆さん、今日は。まだ残暑が続いておりますので体調にはご注意ください。皆さんもテレビのニュースでご存知の通り9月3日から4日にかけて日本を縦断した台風12号は紀伊半島各地において多大な被害をもたらしました。その原因の1つとなったのは移動スピードが大変遅かった為と思われる。この台風12号は2004年の台風23号を越え平成に入って以降最悪の台風になりました。被害地域の早い復旧復興を願うところであります。本日は会員卓話の予定になっております。渡辺勉会員宜しくお願い致します。また今日は月の始めです。米山記念奨学生の朱美善さんが見えになっています。奨学金をお渡し致しますので前の方へどうぞ。私からは以上です。

◎米山記念奨学生挨拶—朱美善さん

皆さん、今日は。本日はとっても嬉しいお知らせがあります。去年の夏から始めた就職活動を終えて来年4月からKFB福島放送に入社することになりました。留学生を採用したのは初めてらしく県内でも留学生を採用した前例は無いそうです。学校でも留学生で就職したのは私が初めてで期待されているようで肩が重く感じます。これからは就職するにあたり社会人として身に付けなければならない常識等を勉強して行きたいと思っております。今後も皆さんのご支援宜しくお願い致します。

◎幹事報告—山下喜一幹事

・米山記念奨学会事務局より普通寄付金の申告期限が10月31日、特別寄付金の場合は自動で発行しますので申告する必要はありません。
・高萩ロータリークラブより3クラブ親睦ゴルフコンペの案内が届いております。日時は10月16日(日)です。親睦活動委員会で担当して下さいようお願いします。
・いわき平東ロータリークラブの9月プログラム、北茨城ロータリークラブの週報を回覧中です。
・なこそ授産所より車椅子の贈呈に対する御礼状が届いております。
・放射線測定報告が勿来第三小学校、錦中学校、山田保育所、植田東中学校、菊田保育所より届いております。
・社会奉仕委員会遠藤委員長より猪苗代湖天神浜の水草除去作業について回覧中です。
・義捐金の還元については今日も行ってまいりますので白土会計までお願いします。
・本日例会終了後理事会がありますので理事者の皆さん宜しくお願い致します。

◎各委員会報告

◇出席委員会—峯口小委員長

本日の出席状況は下記の通りです。なお8月にお渡しする予定だった出席奨励賞を今日お渡し致します。佐藤次男会員前の方へどうぞ。

◇スマイルボックス委員会—佐久間小委員長

・恵まれないスマイルに義捐金のおこぼれを。川中、佐久間、斉藤、矢吹、鈴木、岩元、小熊、鈴木(雅)、児玉、荒川(清)各会員及び渡邊公平ガバナーノミ

二一、赤津会長、山下幹事
・力不足ですが卓話宜しくお願い致します。渡辺勉会員
・誕生祝いありがとうございます。
富澤、嵐、高瀬、関根、櫛田各会員
・前回の例会休んでごめんなさい。
越田和、佐藤(政)、佐野、林、小熊各会員
・しばらく休んでごめんなさい。出席奨励賞ありがとうございます。佐藤次男会員

◇親睦活動委員会—斉藤委員

親睦活動委員会より今月の誕生祝いを差し上げたいと思います。富澤会員、嵐会員、高瀬会員、関根会員、櫛田会員前の方へどうぞ。おめでとうございます。



◇放射線量計観測結果報告

—鈴木修一郎直前会長

保育所、小学校、中学校より測定結果の報告がロータリークラブに上って来ていますので回覧します。各団体からは非常に感謝されております。宜しくお願い致します。

◎会員卓話—渡辺 勉会員

今日は今年の夏の電力事情を考へまして「これからの電力エネルギー開発」について資料をもとにお話したいと思います。

①太陽光

予備知識：発電エネルギーが設備の「みかけ」より小さい太陽光は「昼間だけ」発電→稼働率は最大50%
朝や夕方は光が弱いので出力が低下→稼働率は30%が目一杯
日本では雨や曇りの日もある→稼働率は最大15%程度

菅前首相が述べられた1000万戸に太陽光を稼働率を考へて評価すると—。
屋根の上の太陽光設備出力3～6kW/軒平均4kWと想定すると—。4000万kW
原子力1台100万kWとすると—40台分
原子力の稼働率を75%とすると、太陽光の稼働率15%で、得られる電気エネルギーは5分の1
40台/5=原子力8台(=800万kW)分相当
安定しない発電力の力量は割り引いて考えることが必要

晴れ4000万kW、雨0kW
これでは、安定的に電気が供給できない→電池で貯めよう!

4000万kW分の電気を雨の3日分を貯めておき全部使わない様にと、発電力は1000万kWにしなければならない。1000万kW(3000万kW)、1000万kW(2000万kW)、1000万kW(1000万kW)1000万kW(0万kW)(貯蔵量)

・大きな量の電池(この場合3000万kW分)が必要

・(雨の日のために)貯めておくと一日当りに利用できる発電力が減る

○1000万kWのインパクトは?

日本全体の需要:1億5千万kW(非常に暑い時を除く)太陽光の電気供給地から:1000万kWは6%程度に相当ただし、電気の貯蔵技術の発達(コスト、貯蔵時のエネルギー損失低減)が前提→電気自動車が増せば、そのバッテリーが使える?

②風力:太陽光より有利と想定されますが

発電する電気エネルギーが太陽光よりは高い→日本では(場所によって)稼働率30%程度

安定しない発電力の力量は割り引いて考えなければならないが、日本はモンスーン地帯であるので、太陽光の様に発電力ゼロで継続する可能性は低い

一方、騒音、振動、動植物生態系への影響等がクリアすべき条件→東北地方は条件が比較的良好と言われている—1000万kW程度?稼働率が低い(30%)を割り引くと実力は500万kW程度

③地熱:有望であるが開発可能量は限られる?

・国立公園内で設置できるか?(規制緩和しても、一方で、環境面からの反対)

・温泉事業者の理解が得られるか?(問題ない可能性は高いが想定外の事象が絶対ない!と証明するのは難しい)

・頑張れば、地熱先進国であるフィリピン程度の開発は可能?→200万kW程度(稼働率は普通の発電所並み)

④水力:大きな水系は開発済み

生態系への影響など、環境問題から飛躍的な発電増加は難しいと想定されます→百万kW?

⑤バイオマス:安定的な燃料確保?→数百万kW?

⑥その他:波力、潮力、海底温度差

経済性等から、当面は少ない量に留まると想定されます。→ゼロに近い

⑦国際的な電力系統の連係で再生エネルギーを輸入

・近い国(中国、韓国)は、自国供給で手一杯。
・ロシア、東南アジアとも数千キロの(海底)送電、コスト面、安定供給面から容易でない。→ゼロ

これから:再生可能エネルギー以外の分散型発電

・コジェネレーション(ガス発電+熱利用)
熱(特にお湯や蒸気)を多く使う企業や個人で活用が進むが、日本では(欧州と比較して)それほど広がらないのでは?

・自家発電

燃料費が安定していれば進むが、化石燃料は今後も(世界的には逼迫するので)上昇傾向が続くので、飛躍的に増すことはないのでは?(しばらくは電力不足で増えるかも知れないが—)

これから:電力会社の発電力増強は?

・既設原子力での安全・安心コスト、仮に廃止すれば廃炉コストが重荷となるので、新規発電(原子力、火力共)への投資は慎重化→既存火力発電所での出力増、既存揚水発電所での増設(貯水池を作る投資額が不要)程度を進める

・新規火力に投資する場合は、再生エネルギー開発量が見通せない段階はCO₂量が少ないガス火力主体

出席状況

正会員数 55名
本日の出席率 80.39%

修正出席率 88.23%